

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月23日

計画の名称	札幌市下水道 社会資本総合整備計画 ~次世代へつなく~													
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	札幌市													
計画の目標	下水道の整備、施設の機能向上に努め、市民の快適な生活環境の確保を目指す。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		1,602	A	1,602	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R2末
1	処理場9か所で施設の機能向上を図る。 処理場施設の改良実施箇所 計画期間内における設備等改良実施施設数(か所)	0か所	5か所	9か所
2	東雁来第2土地区画整理事業地域内の下水道整備を行い、居住人口の増加に寄与する。 土地区画整理事業地域内の居住人口 東雁来第2土地区画整理事業地域内の居住人口(人)	5172人	7583人	8159人
3	定山溪水再生プラザの放流渠を新設し、浄水場より上流の河川への処理水放流を回避することで、浄水場原水の水質改善に寄与する。 浄水場上流での下水処理水放流量 定山溪水再生プラザにおける浄水場上流部での処理水放流量(計画放流量)	18m3/分	18m3/分	18m3/分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
3 浄水場上流での下水処理水放流量においては、令和7年度に水道事業において導水管供用開始(予定)により0m3/分となる予定。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	R02					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	北海道	札幌市	直接	-		終末処理場	-	再構築(処理場設備の改良)	新川水再生プラザ等9か所(最終沈殿池流入ゲート、スカムスキマー、覆蓋、換気設備設置、ホッパー棟増設)	札幌市						1,450		-	
	A07-002	下水道	北海道	札幌市	直接	-		新設	下水道整備(東雁来第2土地区画整理)	D=250~1650、L=0.8km	札幌市							68		-	
	A07-003	下水道	北海道	札幌市	直接	-		新設	水質改善(豊平川水道水源対策)	定山溪水再生プラザ放流渠新設	札幌市							84		-	
												小計							1,602		
												合計							1,602		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 札幌市営企業調査審議会下水道部会	事後評価の実施時期 令和3年度、令和4年度
	公表の方法 札幌市ホームページ上にて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場施設の改良については、覆蓋と換気設備の設置により、腐食防止や作業環境が改善された。</li> <li>・東雁来第2土地区画整理事業地域内の下水道整備については、事業にあわせた整備を実施し、居住人口の増加に寄与した。</li> <li>・定山溪水再生プラザの放流渠については、令和3年度の工事で新設放流渠が完成しており、令和7年度に予定される水道局のバイパス導水路供用開始により、浄水場原水の水質改善に寄与する。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市下水道事業中期経営プラン2025に基づき策定した「札幌市下水道事業 社会資本総合整備計画2025」を確実に実行し、引き続き積極的な国庫交付金を活用する。</li> <li>・覆蓋設置事業については、引き続き水再生プラザの設備改良を進め、腐食防止や作業環境改善を進める。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	処理場施設の改良実施箇所		
	最終目標値	9か所	令和2年度の補正予算を活用し、事業を前倒して実施できたため。
	最終実績値	11か所	
2	土地区画整理事業地域内の居住人口		
	最終目標値	8159人	
	最終実績値	8159人	
3	浄水場上流での下水処理水放流量		
	最終目標値	18m <sup>3</sup> / 分	
	最終実績値	18m <sup>3</sup> / 分	